



『殿様、寝屋の躰～暗殺失敗、奥方にされたくノー～』

編集長 川俣のレビュー

面白さ	★★★★☆
エロさ	★★★★★
ストーリー性	★★★★★
何度も	★★★★☆

■感想

おしりペンペンから始まる“しつけ”の時間は、次第に快感と恋心が変わっていく…。

義政の男らしさと包容力、そして真っ直ぐな愛情に読者も一瞬で堕とされるはず。ヒロインも気の強さと純粹さのバランスが絶妙で、抵抗しながらも徐々に絆されていく姿が本当に可愛い。エロさも抜群で、スパンキングや潮吹きといった描写の迫力も圧倒的。それでいて最後はハッピーエンドで、恋と欲が見事に融合した作品に仕上がっています。

「惚れた女は命懸けで守る」——そんな義政の生き様に痺れ、茜の強さと可愛さに心奪われる、まさに“戦国純愛劇”の傑作！

『殿様、寝屋の躰～暗殺失敗、奥方にされたくノー～』を今すぐ立ち読み